



大阪薬科大学

大阪医科大学

歴史と伝統を持つふたつの大学が統合



知をかよわせ、心をかよわせ。

大阪医科薬科大学

学 部	大学院		
医学部医学科 薬学部薬学科 薬科学科 看護学部看護学科	医学研究科 医科学専攻（修士課程） 医学専攻（博士課程）	薬学研究科 薬学専攻（博士課程） 薬科学専攻（博士前期（修士）課程） 薬科学専攻（博士後期課程）	看護学研究科 看護学専攻（博士前期課程） 看護学専攻（博士後期課程）

■ 本部キャンパス（医学部・大学病院）
大阪府高槻市大学町2番7号

■ 阿武山キャンパス（薬学部）
大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号

■ 本部北キャンパス（看護学部）
大阪府高槻市八丁西町7番6号

<https://www.ompu.ac.jp>



※この印刷物は菌の繁殖を抑える「抗菌ニス」を使用しております。



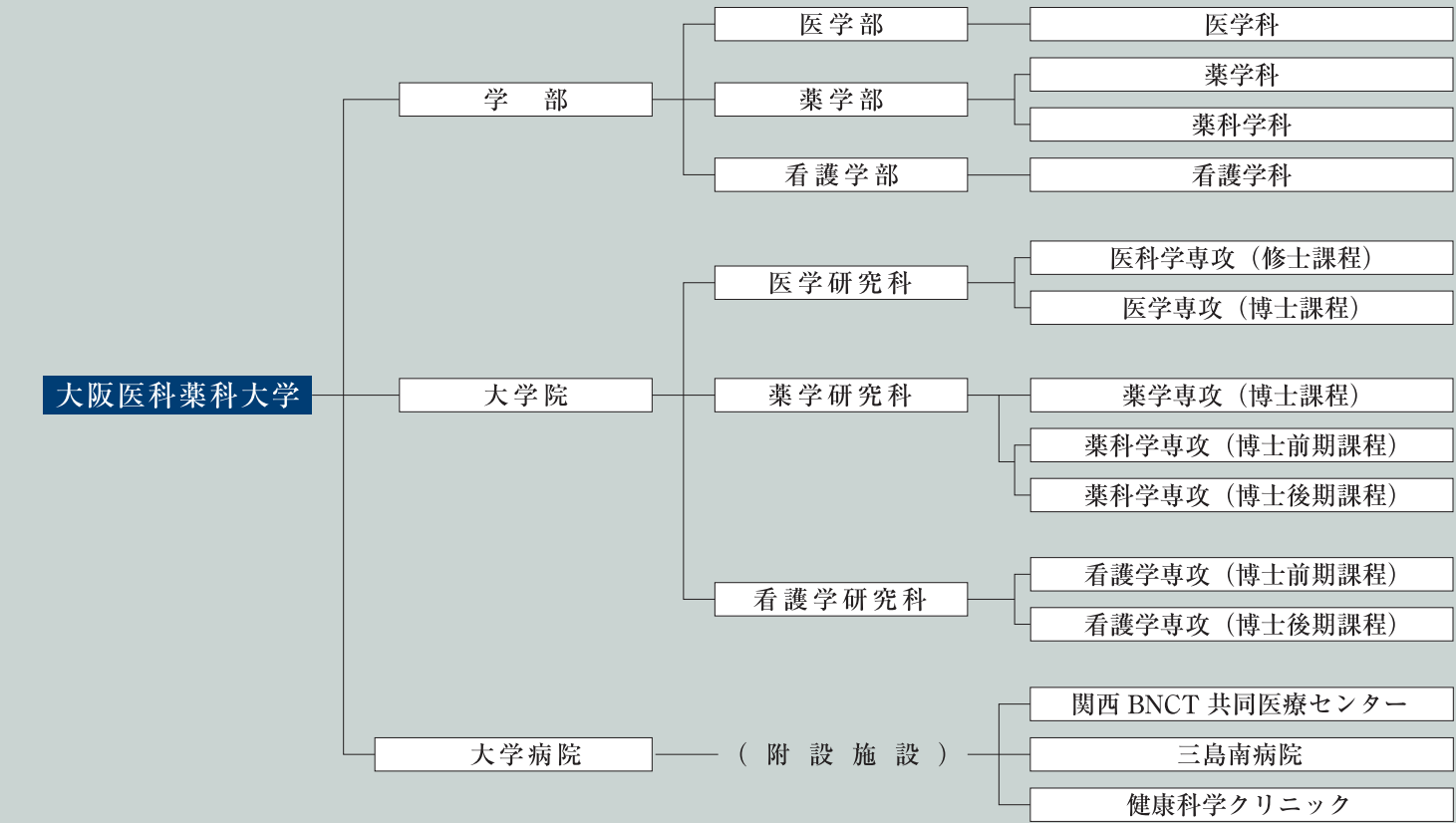
大阪医科薬科大学
Osaka Medical and Pharmaceutical University

この度、本邦有数の医療系総合大学を目指し、大阪医科大学と大阪薬科大学が統合して大阪医科薬科大学が誕生いたしました。日本初の5年制高等医学専門学校として開設した大阪医科大学は、1946年の旧制大学昇格を経て新制大学となり、また大阪薬科大学は、1904年に大阪道修薬学校として開設され、1950年に新制大学に昇格したもので、いずれも多数の有為の人材を輩出してきた歴史と伝統のある高等教育機関です。Society5.0における生命科学や医療のあり方を模索しつつ社会的責任を果たすため両大学が統合したことは、極めて重要なこととして歴史に刻まれるものと思います。

大阪医科薬科大学は至誠仁術を学是に掲げ、国連のSDGsに照らして自らの目標を明らかにし、自律性・公共性・公正性・永続性を確保しながら、医学・薬学・看護学、更には今後本学に求められる医療分野の学問における国際的視野に立った教育研究の実践と、各学部との融和を図りつつ、大学病院においては豊かな人間性を備える医療人材を育成してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



医学・薬学・看護学が連携・融和した先進的・専門的な教育・研究を推進し、
それに基づく高度な医療体制を構築・提供する
我が国有数の医療系総合大学へと発展させます。



大阪薬科大学



1904
大阪道修薬学校設立

1925
道修女子薬学専門学校設立
帝国女子薬学専門学校と改称

1949
帝国薬学専門学校と改称

1950
大阪薬科大学設置認可

1968
薬学科、製薬学科の2学科制とする

1975
大学院薬学研究科薬学専攻修士課程設置

1984
大学院薬学研究科薬学専攻博士課程設置

2006
薬学科(6年制課程)、薬科学科(4年制課程)設置

2010
大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程設置

2012
大学院薬学研究科薬学専攻博士課程(4年制)設置
大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程設置

2014
創立110周年

大阪医科大学



1927
大阪高等医学専門学校設立

1929
大阪高等医学専門学校附属看護婦学校設立

1946
大阪医科大学設置認可(旧制大学)

1952
大阪医科大学設置認可(新制大学)

1959
大学院医学研究科博士課程設置

1978
附属看護婦学校を附属看護専門学校に変更

1983
附属看護専門学校3年課程(全日制)設置

2010
看護学部看護学科設置

2014
大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程・博士後期課程設置

2017
創立90周年

2020
大学院医学研究科医科学専攻修士課程設置

2021.4 「大阪医科薬科大学」 誕生

学是

至誠仁術

至誠とは孟子の「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」に由来しています。

「至誠仁術」には「誠実」、「医学・薬学・看護学教育」、「医学・薬学・看護学研究」、「実地医療」、「国際化」といった5つのキーワードが込められています。

吉津度の唱える「救世仁術」における「救世」は、豊かな人間性に基づくもので、人格として最高の表現とされる「integrity(誠実性)」に共通すると考えられます。この「integrity」の持つ崇高な人間性は、孟子の「是の故に誠は、天の道なり。誠を思うは、人の道なり。至誠にして動かざる者、未だ之れ有らず。誠あらざれば、未だ能く動かす者有らず。」における「至誠」に相当、或いは共通すると考えられます。

建学の精神

医療人育成機関の使命は、教育と研究であり、 またこれらは医療の実践に活かすことで達成される

医療系総合大学として、広く医療人の育成を使命とすることとし、教育と研究双方の実践、臨床現場における実務教育の充実、専門職連携教育の強化を目指します。

IPE

専門職連携教育

大阪医科薬科大学は、専門職連携教育〔IPE：Interprofessional Education〕の充実に注力しています。医療人を目指す他学部の学生と合同で学び、ディスカッションすることで、多様な考え方に触れ、医療全体を俯瞰できるようになり、その上で、自身のプロフェッショナルリズムを醸成していくことを大きな目的としています。



チーム医療・多職種連携を
実践できる医療人の育成

多職種連携論4 医療安全

多職種連携論 臨床・臨地実習

多職種連携論 臨床カンファレンス

多職種連携論3 医療倫理

多職種連携論2 医療と専門職

多職種連携論1 医療人マインド

新入生合同合宿



健康寿命をのぼす

たかつき モデル



「オーラルフレイル」と「ゲノム（遺伝情報）」を切り口に、「次世代オミックス医療研究拠点」を本学に設け、高槻市や高槻商工会議所と連携して、「健康増進プログラムの地域住民への展開」、「健康増進施策の行政への提言」及び「産学連携による研究成果の事業化」に取り組むことで、「たかつき」の健康寿命をのぼし、地域を活性化させるモデル作りに挑戦しています。



ニーズ
課題

臨床研究による
調査

臨床

臨床研究による
実証

実用化
事業化

産官学連携

研究成果を社会に還元することを目的として、それぞれの研究成果から生み出される知的財産の可能性や今後の活用についての検討を進めていくための専門家としてリサーチアドミニストレーター（URA）や産学官連携コーディネーターを配置し、アカデミアが産学官連携を行う上での案件に応じた共同研究企業とのマッチングや獲得可能な競争的研究資金の提案、大学発ベンチャー立ち上げ支援、企業との共同研究体制の強化や特許申請、特許取得の円滑化やライセンスアウトの実施を通して、地域や医薬産業の発展に貢献できるよう努めています。



病院新本館 建築プロジェクト

超スマート医療を推進する大学病院 -Super Smart Hospital-

すべての
施設利用者のストレスが
軽減される病院

時代の変化に柔軟に対応可能で、
継続的に質の高い医療を
提供できる病院

次代を担う人材育成が
実現可能な病院



「バイオフィリア」をデザインコンセプトに、
患者さんが自然と触れ合うことで
健康や幸せを得られる空間を提供します

の竣工を予定。AI を積極的に活用するとともに高い機能を持つ設備を備えた「超スマート大学病院」が誕生します。



臨床・臨地実習

医 学部では1年次の「早期体験実習」から、4～6年次の診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）まで、継続的に現場経験を積みます。

薬 学部では1年次の「早期体験実習」や5年次の「実務実習」など、薬剤師が活躍する実際の現場を訪問し、実体験を通じて卒業後の職種と具体的な仕事内容を理解します。

看 護学部では1年～3年次は大学病院で、4年次では大学病院の他、地域の病院、訪問看護ステーション、介護保険施設、空港検疫所、学校など看護職者が活躍するさまざまな現場で実習を行います。



キャンパス



阿武山キャンパス



本部北キャンパス



本部キャンパス

教育

研究

臨床

関西 BNCT 共同医療センター

ホウ素原子と中性子との核反応を利用してがん細胞を内部から選択的に破壊・死滅させるホウ素中性子捕捉療法（BNCT）。
本センターでは2020年6月から保険診療を開始しています。



大阪医科薬科大学病院



地域の中核医療機関であると同時に、特定機能病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院（高度型）、がんゲノム医療連携病院など公的機関から30以上の指定を受けています。

中央手術棟



2016年竣工。CT ハイブリッド手術室やアンギオハイブリッド手術室、ロボット手術室などを完備。「24時間断らない手術室」として、年間12,000件以上の手術を行っています。

